

PowerCMS クラウドのサービスレベル目標(SLO)および ご契約者様で実施可能な可用性向上・セキュリティ対策について

アルファサード株式会社

本資料の目的

本資料は、PowerCMS クラウドをご検討中の皆様が安心して PowerCMS クラウドをご選定いただくために、PowerCMS クラウドのサービスレベル目標と、ご契約者様で実施いただける可用性向上とセキュリティ対策についてご案内するものです。

「PowerCMS クラウドのサービスレベル目標(SLO)」は、アルファサード株式会社がサービス事業者として PowerCMS クラウドのサービス品質をどのように確保していくのかをご説明しています。

さらに「ご契約者様で実施可能な可用性向上・セキュリティ対策」をご案内することで、PowerCMS クラウドの機能を利用してご契約者にて実施いただくことで、さらにサービス全体の可用性やセキュリティを向上されることを目的としています。

サービスレベル目標(SLO)

可用性および信頼性

システム構成

システム基盤としている Microsoft Azure Virtual Machines にて、99.9% 以上の時間において外部接続が確保されることが保証されるためのシングルインスタンス用システム構成を採用しております。

サービス提供時間

24 時間 365 日（定期メンテナンス等の計画停止を除く）

計画停止

計画停止のスケジュールは、事前にメールにて通知します

運用体制と障害発生時の対応

すべてのご契約者様の PowerCMS クラウド環境は、Azure 機能による機械監視と異常検出時のアラートメールによる、リモートでの有人監視および障害発生時の一次対応を行っております。一次対応では手続きに従い各サービスの正常性を確認し、異常があったサービスを再起動することにより障害の復旧を試みます。一次対応で復旧できない場合は、弊社営業時間内に一次対応の手続きにはない問題の調査対応や、バックアップからの復旧作業を行います。

データ管理

データセンター所在地

システム基盤としている Microsoft Azure Virtual Machines に於いて、PowerCMS クラウドでご利用いただく仮想マシンを、プロフェッショナル版は米国西部2リージョン（ワシントン州）、エンタープライズ版とアドバンスド版は東日本リージョン（東京都、埼玉県）にて作成いたします。

バックアップ

ご契約者様のデータは毎日1回、無停止でバックアップを作成しています。このバックアップは、システム障害に備えてのバックアップであり、ご契約者自身でご利用いただけるものではありません。

ご契約者様データの取り扱い

ご契約者様データへのアクセスは、制限およびアクセス制御管理を実施しております。アクセス権限の所有者は業務執行権限者によって必要最小限の人数が選定されております。

データの消去

サービスを解約されたご契約者様のデータおよび全バックアップデータは、解約2週間後に完全消去いたします。

サービス稼働率およびサービス品質保証制度（SLA）

定めておりません。

サービス クレジット

定めておりません。

ディザスタリカバリ

対応しておりません。

アップデート方針

1. 各種サービスアップデートに関しては、すべてのご契約者様に順次実施いたします。
2. OS およびミドルウェアの脆弱性などについては、OS パッケージの定期アップデートで対応します。アップデートの内容によっては、プロセスやサーバーの再起動を伴うことがあります。
3. PowerCMS については、お客様のお申し出により、実施タイミングを調整の上、アップデートを行います。
4. 上記 PowerCMS のアップデート実施後の検証には、PowerCMS にログイン可能なアカウントが必要となります。検証作業には PowerCMS 製品以外のプラグインの動作確認は含まれません。
5. 緊急を要する脆弱性対応等、その他のアップデート・パッチ作業を弊社判断により、必要に応じ適宜実施することがあります。
6. ご契約者様の設定作業が必要となるようなサーバー環境の大幅な変更については、事前にメールにて通知いたします。
7. アルファサードが提供する PowerCMS 本体や PowerSync SAMLLogin などのプラグインについては、クロスサイトスクリプティングなどセキュリティ上の問題に注意して開発を行っています。
8. 脆弱性が報告された場合、また自ら発見した場合、アルファサードは自己の判断でアップデートを行い提供します。
9. アルファサード製品以外のお客様が設置するプラグインについては、お客様がセキュリティ対策を行ってください。

サポート

<https://www.powercms.jp/support/> に定める PowerCMS のサポート体制に準じます。

お客様データの取り扱い

お客様データへのアクセスは、アクセス権限制御管理を行っています。アクセス権限の所有者は業務執行権限者によって必要最小限の人数が選定されます。

ご契約者様で実施可能な可用性向上・セキュリティ対策

公開サイトのアクセス制限の設定(接続元 IP アドレスによる制限)

PowerCMS が出力する公開サイトの任意のディレクトリに対して、特定の IP アドレスからのみ接続を許可する設定が可能です。これにより、外部からの不正アクセスに対する防御が可能で、かつ ID やパスワードなどを入力する必要がありません。また、公開サイト全体に制限を掛けることも可能で、この場合組織内からのみアクセスなサイトが実現可能です。

上記に加えて、ベーシック認証・ダイジェスト認証を併用することが可能です。組織内からの接続では IP アドレスによる接続許可、出先からの接続ではベーシック認証による接続許可とすることで、柔軟な運用が可能になります。

管理画面ユーザーのパスワード検証ルール

ユーザーがサインインに利用するパスワードの条件を設定できます。

不正サインインに対するアカウントのロック条件の変更

PowerCMS にサインインするときに、一定の回数以上、ユーザー名とパスワードを間違えると、ユーザーのアカウントがロックされます。これにより、ユーザーアカウントへの辞書攻撃などを防止します。ロックの条件を強化することもできます。

Data API のアクセス制限

PowerCMS は Data API 機能があり、公開状態の記事やウェブページ、カスタムオブジェクトのデータへの API を通じたアクセスを認証なしに可能にします。

Data API を使用しない場合、管理画面の Web サービス設定から「Data API のアクセスを許可する」のチェックを外すことで可能です。サイト毎に設定できます。

SFTP パスワードの変更

ご契約者様がファイルなどをアップロードする際にご利用いただけるパスワード認証の SFTP アカウントを 1 アカウント提供します。アカウントのパスワードは、PowerCMS の管理画面からいつでも変更いただけます。

なお、アカウント名の変更やアカウントの追加は行えません。

フロントサーバーオプションの利用による公開サーバーの分離

フロントサーバーオプションをご契約いただくことで、PowerCMS クラウドの既定の仮想マシンに加え、公開専用サーバー環境をご利用いただけます。こちらは、Microsoft Azure App Service を利用しております。

これにより、PowerCMS にて出力する Web サイト全体にアクセス制限をかけてステージング環境とし、サイト全体について表記等問題がないことを確認後に公開サーバーにファイルを転送するといった、一種の公開ワークフローのような利用が可能です。

また PowerCMS 管理画面と別サーバーとすることで、管理画面の負荷によるアクセス障害を排除でき、公開専用サーバー

を使う事による高可用性を確保できます。

— 以上 —